



昨日友人がラインで「津軽富士・岩木山と垂り穂」の写真を送って来てくれました。懐かしさと美しさに胸キュンとなりました。彼女のお嫁ちゃんが稲刈りに出かけ、あまりの清々しさに写真を撮って、遠く離れたところに住む姑である彼女に送ったとのこと。さらに、今年は豊作のようですとのコメントも添えてありました。コメがスーパーから消えたというニュースを最近耳にしたところでしたから、安堵感も一緒に伝わってきました。すぐさま友人たちに転送しました。全員、私と同じ気持ちになったようです。



ウクライナの平野 (ウィキペディア)

眺める度に、故郷の津軽の野面の姿は、青空と麦畑を象徴している「ウクライナの国旗」に似ていると感じます。高く澄み切った青空と黄金色に輝く畑や田圃の大地は、私たち人間に与えられた平和と幸せを象徴する恵みの世界と思わずにいられません。清らかな空気と美味しい食事を誰もが共に味わう、それほど楽しい、豊かな日々はありません。ウクライナの人々にそのような安堵し、平和に過ごす日々はいつ訪れるのでしょうか。

今だに、ロシアのウクライナ軍事侵攻は収束の兆しはありません。ウォールストリートジャーナルは、戦争勃発（2022年2月24日）以来、両国で合計100万人余りの死傷者が出た：ロシア軍60万人（死亡20万人、負傷40万人）とウクライナ軍48万人（死亡8万人、負傷40万人）と報じています。私たちはTVで、瓦礫と化したウクライナの街々、住居、病院、学校、疲弊した人々の悲しい姿を見続けています。無力感に襲われています。

「風の谷のナウシカ」を思い出しました。最終戦争で大地も地下も汚染され、腐敗し、荒廃した世界に、主人公のナウシカは空と風の色をまとして現れ、清浄で黄金色に輝く大地を取り戻そうと願い、求めます。理想のために戦いたくても、汚濁にまみれた中で生きるしかない人々を気遣い、彼らと共に生きたいと思うナウシカは、風の谷に消えていきます。切ないファンタジーです。終末時計は「残り90秒」と示しているそうです。

